履歴書記入要領

① 学歴・職歴

給与決定等に必要なため、高校卒業から入庁までの学歴及び大学（院）卒業後の職歴をできるだけ詳しく記入してください。

●学歴について
記載例を参考に、学科等まで詳細に記載願います（中退の場合は、在学中の取得単数も記載してください）。

●職歴について
勤務先名称のほか、採用形態（例：社員、派遣社員、契約社員）も記載願います。
また、備考欄に勤務形態（例：週２日勤務（9時00分～13時00分、休憩なし）、週５日勤務（9時00分～17時00分、うち休憩1時間））及び職務内容（例：事務、営業）を記載願います。
採用内定となった場合には、履歴書に記載する上記事項と同内容の職歴証明書（『在職証明書』、『退職証明書』等）を、当該勤務先から取得の上、ご提出いただきます。

＜記載例＞－－－

[学歴・職歴]欄
H20.4.1 ～ H23.3.○　○○高等学校普通科（卒業）
H23.4.1 ～ H24.3.○　○○予備校
H24.4.1 ～ H28.3.○　○○大学○○学部○○学科（卒業）
H28.4.1 ～ H29.3.○　○○大学大学院○○研究科（中退）取得単位数：15
H29.4.1 ～ H30.3.31　△△株式会社（派遣社員）
H30.4.1 ～ R2.3.31　無職
R2.4.1 ～ R4.3.31　株式会社◇◇商事（契約社員）

[備考]欄
H29.4.1 ～ H30.3.31　△△株式会社（派遣社員）
週２日勤務（9時00分～17時00分、うち休憩1時間）、営業
R2.4.1 ～ R4.3.31　株式会社◇◇商事（契約社員）
週５日勤務（9時00分～15時00分、うち休憩1時間）、事務

－－

② 試験・資格

合格した試験名、その他取得した資格を記入してください。
※弁護士や公認会計士等の専門知識を必要とする採用（任期付職員）の場合には、給与決定等に必要なため、試験合格日及び登録日を記載願います。

＜記載例＞－－－

H○.○.○　日本商工会議所簿記検定2級
H○.○.○　行政書士試験
R○.○.○　司法試験
R○.○.○　弁護士登録（△△会）

－－

③ 志望動機・自己PR等、趣味・特技、健康状態、本人希望記入欄

ご自身のことについて、ご自由に記入してください。

募集番号（　　）

履　歴　書

（令和　年　月　日現在）

写　真 （3ヶ月以内に撮影したものに限る） 〔4cm×3cm〕

（フリガナ）	
氏　名	
（ フリガナ　　：　　） （ 旧姓使用　：　　）（※1）	

生 年 月 日 ： 年　月　日生　（満　歳）	性別（※2）：
現　住　所　：〒（　－　）	
連　絡　先　：〒（　－　）	
（現住所以外に連絡を希望する場合に記入してください）	
電　　話　：	
携 帯 電 話 ：	
メールアドレス：	

※1　業務で「旧姓」を使用希望の場合に限り、記入してください。
※2　「性別」欄の記載は任意です。未記載（空欄）とすることも可能です。

期　間	学　歴　・　職　歴　（項目別にまとめて記載する）

氏名（　　）

期　間	学 歴 ・ 職 歴（項目別にまとめて記載する）
備　考	

試 験 ・ 資 格			
取 得 年 月 日	名　　称	取 得 年 月 日	名　　称

志 望 動 機 ・ 自 己 Ｐ Ｒ 等	
趣 味 ・ 特 技	健 康 状 態

本 人 希 望 記 入 欄
（特に職種・勤務時間・要配慮事項・その他についての希望などがあれば記入）

（以下の事項について該当・非該当のどちらかに〇印をつけて下さい）

1. 日本国籍を有しない者	該当　・　非該当
2. 拘禁刑以上の刑に処せられ、その執行を終わるまでの者又はその刑の執行猶予の期間中の者その他その執行を受けることがなくなるまでの者	該当　・　非該当
3. 一般職の国家公務員として懲戒免職の処分を受け、その処分の日から2年を経過しない者	該当　・　非該当
4. 日本国憲法又はその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党その他の団体を結成し、又はこれに加入した者	該当　・　非該当
5. 平成11年改正前の民法の規定による準禁治産の宣告を受けいる者（心神耗弱を原因とするもの以外）	該当　・　非該当

以上の記載事項について、誤りのないことを確認いたします。

令和　　年　　月　　日

氏名